



## 《安全管理》 転倒転落発生率

---

### 項目解説

---

入院中における転倒転落は、患者さんの年齢や認知力によって発生に差が生じると言われています。普段の生活の場と異なる病院の環境へ適応する力に、それらが影響を及ぼすためです。転倒転落により、外傷や打撲だけでなく骨折・脳出血といった重大な障害から後遺症となる事もあります。

### 当院の実績

---

平成22年度	0.3%	
平成23年度	0.3%	
平成24年度	0.29%	(264/89,829)
平成25年度	0.26%	(214/83,543)
平成26年度	0.22%	(174/78,539)
平成27年度	0.24%	(186/77,234)
平成28年度	0.22%	(173/79,139)

### 当院の自己点検評価

---

当院では、転倒転落をおこしやすい患者さんをアセスメントシートで認識し、予防のための計画を立案し実行しています。

また、病室や廊下等の療養環境整備、職員の研修、患者さんご本人やご家族への予防知識の提供などを通じ、転倒・転落に伴う骨折および外傷を予防する取り組みを続けてまいります。

### 定義

---

算式のとおり

### 算式

---

分子：セーフティレポートによる転倒転落件数

分母：入院延べ患者数（新生児を含む）